

小千谷市立 総合支援学校 進路だより

No.3 (R7/7/17)

〒949-8721

小千谷市大字塩殿甲 2144 番地

TEL 0258-82-1878



一期一会

小千谷総合支援学校グラウンドからの景色。信濃川と越後三山

もうすぐ夏休みが始まります

6月下旬に高等部説明会が行われました。その中で高等部の職場実習の様子をお伝えしたのですが、『実習先にはどうやって通うのですか?』と質問してくださった方がいました。実習先へは、保護者の方の送迎あるいはバスや電車等の公共交通機関を使って通う生徒が大半です。高等部になって、初めて公共交通機関を利用する生徒も多くいます。ぜひ、小・中学部の時から、保護者の方と一緒に**公共交通機関を使う経験**をしていただきたいと思います。また、**家庭や学校以外の場に慣れること**も大切です。日中一時等、福祉サービスの利用も過ごし方の一つの手段としてお考えいただければと思います。夏休みは、日頃の学校生活ではなかなかできないことにチャレンジできる貴重な期間です。将来の自立や就労を見据え、ご家庭でも様々な体験の機会を作っていただければと思います。

7月は例年以上の猛暑となり、日中は室内で過ごす事が多かったのではないのでしょうか。今後も暑さが予想されますので、体調に気を付けて充実した夏休みをお過ごしください。



保護者アンケート(高等部前期実習)の紹介

高等部の保護者様よりいただいた実習アンケートを一部ご紹介します。

Q, 今回の実習でお子さんにどんな成長・成果が見られましたか?

- ・実習先で製品の配達に同行させていただいたことで、仕事の達成感を喜びとして感じ取れたようだ。
- ・校内実習に取り組む姿勢が日に日に成長していると感じた。
- ・初めて路線バスに乗って一人で職場まで行くという経験をした。お金を落としてしまう等の失敗もあったが、それも良い経験になった。



Q, 実習に関して、保護者の立場からのお考えをお聞かせください

- ・初めは実習先の職員さんに気を遣いすぎて、分からない事を質問できなかった。スムーズに仕事をするためには、積極的に質問してよいのだと分かってきたようだ。
- ・生活において、効率を考えた方が良いと感じた。
- ・仕事は楽しいことばかりでなく、辛い事や苦しいこともあるが、続けていれば楽しい事もある。
- ・失敗して落ち込むこともあったが、気持ちを切り替えて実習をやり遂げた。反省は大事だが、失敗を引きずりすぎずに、上手にコントロールできているように感じた。



Q、今後に向けてのご要望、ご質問、将来の生活や社会についてのお考えをお聞かせください。

- ・今回の実習先は昨年度と同じところだったので、落ち着いてできたと思う。新しい事業所だと大丈夫か心配。
→ そうですね。慣れない場所は大人でも子どもでもとても緊張しますよね。私自身、新しい事業所には電話をするだけでドキドキしてしまうので、不安なお気持ちはよく分かります。お子様が安心して取り組めるように学校職員もしっかりサポートしたいと思いますし、新しい環境だからこそ得られる学びや気付きもあります。今後の成長の一步として、丁寧に見守っていただければと思います。
- ・時間を考えて行動できた実習だと思っていたが、実習後の実生活でそれが活かされていない場面があり、とても残念に感じた。今後、学校生活で学んだことを実生活で活かせるよう注視していきたい。
→ 実習日誌などよく見てくださっていたんですね。ありがとうございます。実習は限定された環境下での学習なので、日常生活の中でその力を発揮するには繰り返しの練習が必要だと思います。学校生活の中でも、日常場面での般化につながるような支援を意識して取り組んでいきたいと思っています。
- ・1カ所で長く実習させてみたい半面、2カ所で実習できると選択肢も増えて良いと感じた。
→ そうですね。ただ、実習先事業所には当校だけでなく、近隣の支援学校からも実習依頼があります。今回の実習でも、同一事業所に3校から実習希望があり、日程を調整して何とか実習させていただきました。前回実習できなかったなど特別な事情がある場合や先方の都合で短い期間しか実習できない場合等は、特例として2カ所での実習をさせていただくこともあります。ご理解いただけるとありがたいです。なお、実習できない分、見学等で様々な事業所を知っていただければと思います。見学希望がございましたら、学校までご連絡ください。調整させていただきます。

将来



貴重なご意見・ご感想、ありがとうございました。

**進路
あれこれ**



7月11日（金）PTA 環境進路委員会主催の研修会で小千谷市障がい者基幹相談支援センターの三浦様から「お金と成年後見制度」と題し、ご講演いただきました。

三浦様からは、具体的金額を交えながら児童期と成人期における「お金」について、また「成年後見制度」の概要について分かりやすく教えていただきました。

ご講演の中で心に残ったことは、「重要なのは『親亡き後』ではなく『親の支援無き後』」、「親亡き後の問題は、親が生きている内にこそ！」という言葉です。在学時から、卒業後の生活をイメージしていくことの大切さを再認識しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



7/4付けでPTA 事業所見学【8/20（水）実施】の案内を出させていただきました。今回見学させていただきさつき工房様は就労継続支援 B 型と市内では唯一の地域活動支援センター、デイサービスセンターみなみ様は高齢者の方とともに過ごす共生型の生活介護事業所です。多くの保護者様からご見学いただき、お子様の将来の生活を考えるきっかけにいただければと考えております。✓切が明日18日となっておりますので、是非ご検討ください。なお、用紙をなくされた方がいらっしゃいましたら、連絡帳等で担任までお知らせください。23日（水）までにご提出いただきたいと思います。よろしくお願いします。